

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：TボンドSS(1:1)主剤 TボンドSS(チューブタイプ)主剤

製品番号 (SDS NO)：M18-051-3

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：工業用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：大成ファインケミカル株式会社

住所：東京都葛飾区西新小岩3-5-1

担当部署：機能商品事業部 技術グループ

電話番号：03-3691-3370

FAX：03-3691-3371

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2B

皮膚感作性:区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 1

水生環境有害性 長期(慢性):区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語:警告

危険有害性情報

皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。

特別な処置が必要である。

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
ビスフェノールAエポキシ樹脂	30 - 40	25068-38-6	7-1279;7-1283
低沸点芳香族ソルベントナフサ	< 1	64742-95-6	9-1691;9-1698;9-1700;9-2578
酸化チタン(IV)	< 1	13463-67-7	1-558
炭酸カルシウム	50 - 60	471-34-1	1-122

危険有害成分

GHS分類区分に該当する危険有害成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂，酸化チタン(IV)

環境シンボル該当成分

ビスフェノールAエポキシ樹脂

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

強酸、強塩基との接触を避けること。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(2022) 1.5mg/m³ (吸入性粉塵); 2mg/m³ (総粉塵)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m³(R) (下気道刺激; じん肺症)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：ペースト状

色：白色

臭い：特有臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：点火性あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：適用外

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

密度及び/又は相対密度：1.6～1.7g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

重合暴走反応は生じない。

アミンと反応する。

化学的安定性

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性

酸、アルカリおよび酸化剤で反応する。

避けるべき条件

直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。

混触危険物質

強酸、強塩基

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

労働基準法: 疾病化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002 et al)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

ラビット 軽度の刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-36, 2002)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

区分 2

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性 [厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

cat. 1; DFGOTvol.19, 2003

[CLP規則 附属書VI 表3]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

区分 1

生殖細胞変異原性

[成分データ]

[CLP規則 附属書VI 表3]

(低沸点芳香族溶剤ナフサ)

区分 1B

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

ビスフェノールAエポキシ樹脂

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

発がん性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(低沸点芳香族ソルベントナフサ)

区分 1B

[IARC]

(酸化チタン(IV))

Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(酸化チタン(IV))

A3(as Finescale particles)(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(酸化チタン(IV))

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(低沸点芳香族ソルベントナフサ)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

誤えん有害性

[成分データ]

[区分1]

[CLP規則 附属書VI 表3]

(低沸点芳香族ソルベントナフサ)

区分 1

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (GERI/NITE, 2006)

(酸化チタン(IV))

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

水生環境有害性 長期(慢性)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

区分 2

水溶解度

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

0.0000041 g/100 ml (GERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

(炭酸カルシウム)

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

非常に溶けにくい (14 mg/l , 25°C) (ICSC, 2012)

残留性・分解性

[成分データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BODによる分解度:0% (既存点検)

生体蓄積性

[成分データ]

(ビスフェノールAエポキシ樹脂)

BCF <= 42 (Check & Review, Japan)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(X類)

ビスフェノールAエポキシ樹脂

有害液体物質(Z類)

酸化チタン(IV)

有害でない物質(OS類)

炭酸カルシウム

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物

酸化チタン(IV)

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

ビスフェノールAエポキシ樹脂

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

T ボンド SS(1:1)主剤 T ボンド SS(チューブタイプ)主剤

優先評価化学物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

海洋汚染防止法

施行規則 第12条の3の2の10

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

ビスフェノールAエポキシ樹脂

16. その他の情報

GHS分類区分

皮膚腐食性/刺激性 区分 2:H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B:H320 眼刺激

皮膚感作性 区分 1:H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生環境有害性 短期(急性) 区分 1:H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 1:H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2023 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。